農研第５０５号
令和８年７月２７日

各関係機関　御中

石川県農林総合研究センター所長
（　公　印　省　略　）

病害虫発生予察情報について

令和８年度病害虫発生予察注意報第３号を下記のとおり送付します。

連絡先　石川県農林総合研究センター
中央普及支援センター　病害虫防除室
電話　076-257-6972（直通）
FAX　076-257-9140
E-mail　kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp

注意報第3号

斑点米カメムシ類の多発に注意

1　注意報の内容

病害虫名：斑点米カメムシ類
（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ等）
対象地域：県内全域
水田侵入時期：７月中旬以降
発生量：多

2　注意報発表の根拠

(1)出穂した、水稲ほ場における斑点米カメムシ類の発生は、40回すくい取り調査による成虫数が16.1頭（平年値：13.8頭）で平年と同様に多い。

(2)種類別では、飛翔性カメムシが多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫数が1.2頭（平年値：0.9頭）、ホソハリカメムシの成虫数が1.9頭（平年値：1.3頭）と多く、大型のクモヘリカメムシの成虫数が10.4頭（平年値：7.6頭）と特に多い。

(3)向こう１か月の気象予報（令和８年７月１６日付、新潟地方気象台発表）によると、向こう１か月の気温は高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなると推測される。

3　防除上の注意事項

(1)出穂７～１０日後と１４～１７日後の２回の防除を徹底する。

(2)出穂後の草刈りは、本虫のほ場内への侵入を助長するので避ける。

※ 農薬の使用に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。

（資料）

表　　水稲ほ場における斑点米カメムシ類の発生（７月中旬、12 地点調査）

斑点米カメムシ類	40 回すくい取り成虫数（頭）	
	R8 年	平年値
クモヘリカメムシ	10.4	7.6
ホソハリカメムシ	1.9	1.3
アカヒゲホソミドリカスミカメ	1.2	0.9
トゲシラホシカメムシ	0.6	0.2
その他カメムシ	2.0	3.8
合計	16.1	13.8

注）平年値は、過去 10 年（H28～R7 年）の平均

その他カメムシは、アカスジカスミカメ等の計